



スクールリポート

▶ 学校教育課
☎23-3679

学校生活の
一コマを
紹介



「花いっぱいになあれ」

～心に届け 光輝く 神戸のフラワー～

神戸小学校



●丁寧に仮植



●デザインどおりに定植



●協力して作りあげた「太陽輝く花畑」

神戸小学校では、園芸部と緑化委員会の児童・職員が中心になってFBC(フラワーブラボーコンクール)に取り組んでいます。花壇のデザインは、毎年、全校児童から募集します。今年度は、6年生児童が考えた「太陽輝く花畑」が選ばれました。花壇の右側から朝日が昇り、花畑が明るい光に照らされてたくさんの花が輝く様子を表現しています。

花は、園芸部が種から育てます。種がとても小さいので、一粒一粒丁寧に蒔き、種が流れ出ないように優しく水をかけます。本葉が5～6枚出ると、ビニールポットに仮植をします。葉が切れたり、根がちぎれたりしないように気を付けて植えます。苗が成長すると花壇に定植をします。その後は、水かけ・草取り・肥料やり・摘心・花がら摘みをします。

今年度は、発芽後に雨が続き、夏休み中は雨があまり降らなかったり、害虫の被害にあったりと苦労がありました。液肥をやったり、黄色くなった葉や草を取ったりして大切に育てました。きれいな花が咲くように、みんなで協力してがんばりました。



「縦割り活動」

校風を未来へ繋ぐ

東部中学校

東部中学校では、異学年交流を意識した縦割り活動に取り組んでいます。「校歌」「東中ソーラン」「縦割り応援」は、学年の枠を超えた取り組みです。「校歌」は、例年2年生が1年生に歌って聞かせ、一緒に練習をします。体育大会では、「東中ソーラン」と「縦割り応援」があります。全校種目として毎年実施している「東中ソーラン」は、3年生が1、2年生に振りを教えます。

全校そろいの法被は、「魅力ある学校づくりプロジェクト事業」を活用して用意したものです。今年度は、学級ごとに隊形移動を工夫して、演技構成をしました。生徒の意気込みもより高まります。昨年度から「縦割り応援」(例えば1A、2A、3Aと一緒に応援する)を取り入れました。3年生が振りや掛け声を考えて、1、2年生へ教えます。先輩と後輩が学年を超えて応援し合い、生徒たちにはこれまで以上に一体感が生まれます。教えてもらった1年生や2年生は、来年はそれぞれ教える側になります。よき伝統を先輩から後輩へ伝えていく取り組みが、より良い校風を創り、未来へつながっていくことを願っています。



●先輩後輩で応援し合う縦割り応援



●そろいの法被の「東中ソーラン」